

プランジャー測定対象エレベーターの技術情報

対象巻上機型式:SKE-400F,SKE-450F

対象巻上機のブレーキ構造について	1 項 1-1、1-2
プランジャーストローク測定方法について	2 項 2-1
要改善ブレーキの対策について	3 項 3-1、3-2、3-3
本件についての外部からの問合せ窓口、連絡先について	4 項



三栄製作所

2021 年 8 月 5 日

プランジャー測定対象エレベーターの技術情報

国土交通省の定める「安全確保のために改善措置が必要である構造ブレーキ(要改善ブレーキ)」に該当するブレーキの判別方法、検査方法、及び要改善ブレーキの改善措置について以下に示します。

要改善ブレーキは、改善措置が完了するまで3ヶ月に1回プランジャーストロークを測定し、国土交通省指定の【様式2】に記入の上、建築基準法第12条第3項に基づく定期報告と併せて特定行政庁に報告して下さい。

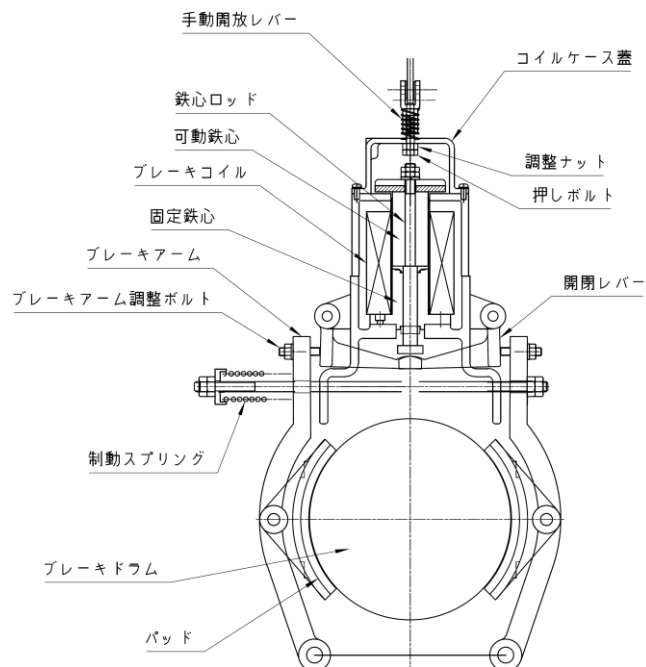
また、改善措置が完了した場合には、特定行政庁および(株)三栄製作所に報告して下さい。

1. 対象巻上機手動開放レバーについて

制動スプリングの種類	手動開放レバー	判定
シングル	有り	脆弱該当
ダブル	有り	脆弱該当

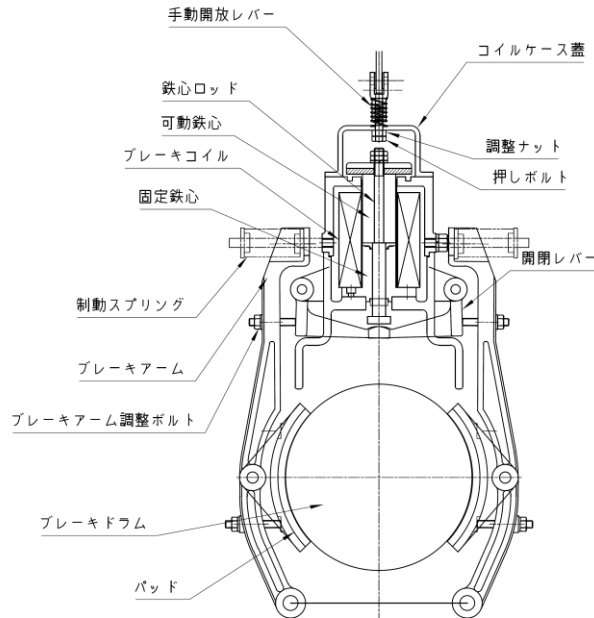
1-1. ブレーキ構造図

図1: シングルスプリングブレーキ構造図手動開放レバー有り



SKE-400F,450F型 シングルスプリング

図 2: ダブルスプリングブレーキ構造図手動開放レバー有り



SKE-400F,450F型 ダブルスプリング

2. プランジヤーストローク測定方法

2-1 項プランジヤーストローク測定手順を参照してプランジヤーストローク寸法を測定してください。

表 1 管理値外の場合は、直ちに管理値内となるように調整を実施してください。

(調整方法は、定期点検マニュアル(管理番号:11-401-010-06)を参照ください)

表 1: 鉄心ロッドプランジヤーストローク管理値 (単位:mm)

	初期ストローク(A-B)	要是正ストローク(A-B)
SKE-400F	1.0～3.0	4.0
SKE-450F	1.0～3.0	4.0

2-1. プランジャーストローク測定手順

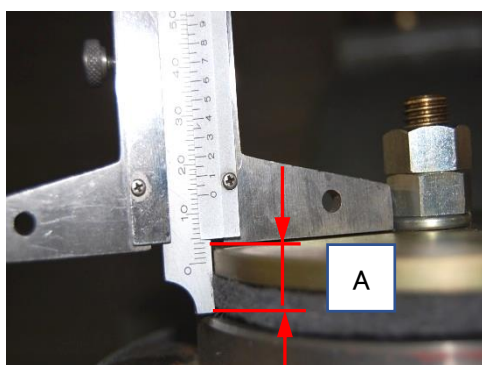
- ① カバーを取外す。(写真はソレノイド 手動開放レバー有り)



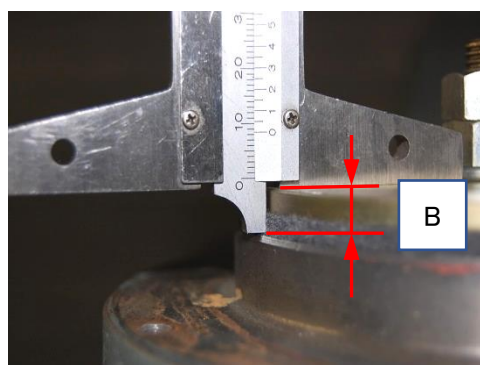
- ② プランジャーストロークを測定して下さい。

ノギスの先端部は同じ箇所ですべて測定して、A 寸法値から B 寸法値の差分がプランジャーストローク値となります。

ブレーキ制動時(電源 OFF) (A 寸法) - ブレーキ釈放時(電源 ON) (B 寸法) = プランジャーストローク寸法



ブレーキ制動時(電源 OFF)



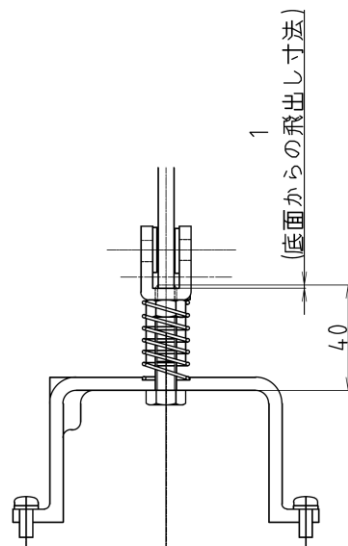
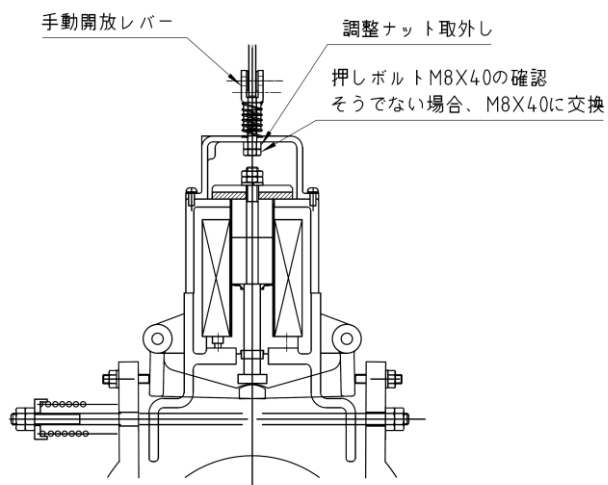
ブレーキ釈放時(電源 ON)

3. 要改善ブレーキの改善措置の方法

3-1. 本改善措置は、既存手動開放レバーの調整ナットを取外して、押しボルト(M8×40)に交換することで、プランジャー上部の先端がコイルケース蓋と干渉するまでの隙間を確保でき、要改善ブレーキを改善出来ます。

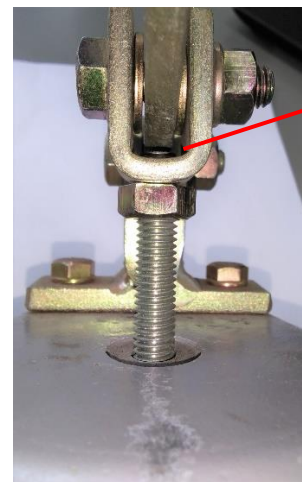
図 3: シングルスプリングブレーキ構造図手動開放レバー有り

(ダブルスプリングブレーキ構造図手動開放レバー有りも同対策です)



押しボルト M8X40の取付寸法拡大図

ネジ 1 山参考写真



3-2. 改善措置作業手順

事前準備として、かごを最上階に移動して、電源を OFF にします。

No.1: 3-1 項図 3 の既存手動開放レバーの調整ナットを取外して下さい。

No.2: 既存押しボルト(M8×40)の寸法を確認して下さい。寸法が違う場合は押しボルト(M8×40)に交換して下さい。

No.3: 既存押しボルトは破棄して下さい。

3-3. 改善完了済のシール貼り付けについて

作業完了後に、改善措置完了を示す「改善完了済」シールをブレーキコイルのコイルケース蓋上部またはコイルケース側面部等に貼り付けて下さい。

貼付場所が汚れている場合、ウエスで清掃をして接着面の清掃を行ってください。

「改善完了済」シールを示します。(支給品:12mm幅 銀地に黒文字)



4. 問合せ窓口、連絡先

本件についての問合せにつきましては、以下にご連絡をお願い致します。

株式会社三栄製作所 問合せ窓口

担当: 品質管理

TEL: 0296-77-5141

E-Mail: maintenance@sanei-ss.co.jp